

2022年10月11日

Honda の米国現地法人であるアメリカン・ホンダモーター（本社：カリフォルニア州トーランス 社長：貝原 典也）は、現地時間 2022 年 10 月 11 日に以下を発表しましたので、その内容をご案内いたします。

<ご参考>

### 米国オハイオ州の工場を、北米における EV 生産のハブ拠点へ

Honda は、今後の EV の本格的な生産に向けて、米国オハイオ州内の 3 つの既存工場（四輪車を生産するメアリズビル工場とイーストリバティ工場、四輪車用パワートレインを生産するアンナ・エンジン工場）に、合計 7 億 US ドルを投資して生産設備を更新します。Honda は今後、これらの工場を、北米における EV 生産のハブ拠点として進化させていきます。

この生産設備の更新により、2026 年に北米で発売を予定している EV 向けプラットフォーム「Honda e:アーキテクチャー」を採用した EV を、オハイオ州で生産する予定です。アンナ・エンジン工場で製造するバッテリーケースと、LG エナジーソリューションとの EV 用バッテリー生産合併会社の工場で生産されるバッテリーモジュールを、メアリズビル工場で組み合わせてバッテリーユニットを製造し、これをメアリズビル工場とイーストリバティ工場で生産する EV に搭載します。

Honda は、1982 年にメアリズビル工場で、日本の自動車メーカーとして初めて米国における四輪車の生産を開始し、今年で 40 周年を迎えました。今後、オハイオ州の生産拠点を Honda の北米における EV 生産のハブ拠点と位置づけ、北米内の他の四輪車生産拠点に EV の生産技術やノウハウを展開していきます。